

令和4年度 全国道路利用者会議事業報告

【令和4年】

- 4月 新聞編集幹事会
- 8日 監査
- 21日 理事会(全社協・灘尾ホール)
- 5月 新聞編集幹事会
- 11日 新聞編集幹事会
- 17日 第74回定時総会(砂防会館別館 シェーンパッハサポール) / 参加者数500名・要望活動
- 6月 新聞編集幹事会
- 9日 新聞編集幹事会
- 7月 新聞編集幹事会
- 8月 新聞編集幹事会
- 10日 「道の日」
- 9月 令和5年度道路関係予算概算要求概要説明会



- 7日 新聞編集幹事会
- 10日 新聞編集幹事会
- 12月 新聞編集幹事会
- 7日 新聞編集幹事会
- 1月 新聞編集幹事会
- 12日 新聞編集幹事会
- 30日 令和5年度道路関係予算決定概要説明会(都市センターホテル)
- 2月 新聞編集幹事会
- 2日 新聞編集幹事会
- 3月 新聞編集幹事会

9日 安全・安心の道づくりを求める全国大会(砂防会館別館 シェーンパッハサポール) / 参加者数1,400名・要望活動

令和5年度 全国道路利用者会議事業予定

【令和5年】

- 4月 監査
- 7日 理事会(全社協・灘尾ホール)
- 16日 第75回定時総会(砂防会館別館「シェーンパッハサポール」)
- 8月 新聞編集幹事会
- 10日 「道の日」
- 9月 令和6年度道路関係予算概算要求概要説明会(都市センターホテル)
- 14日 理事会(全社協・灘尾ホール)
- 10月 第73回全国大会(臨時総会・長野県)

- 19日 安全・安心の道づくりを求める全国大会開催(砂防会館別館「シェーンパッハサポール」) / 要望活動
- 11月 安全・安心の道づくりを求める全国大会開催(砂防会館別館「シェーンパッハサポール」) / 要望活動
- 1月 令和6年度道路関係予算決定概要説明会(都市センターホテル)
- 30日 令和6年度道路関係予算決定概要説明会(都市センターホテル)
- 新聞編集幹事会 毎月1回

地方公共団体の道路除雪費を追加支援

この冬は昨年未の大雪や、年明け後の「10年に1度クラス」と言われる寒波の流入などにより、地方公共団体では多くの道路除雪費が必要となっていた。

このため、国土交通省では、2月21日に実施した除雪費の追加支援に続き、その後の聞き取り結果も踏まえ、3月17日に地方公共団体に対し、更なる追加支援として34.9億円(国費)を追加配分した。

令和4年度 道路除雪費補助等 (R5.3.17配分) 道府県別内訳表

道府県・政令市名	配分額合計	除雪費追加配分	
		道府県・政令市(除雪費補助)	市町村(臨時特例措置)
北海道	10,018	6,378	3,640 (73)
うち 札幌市	1,353	196	1,157 (1)
青森県	2,731	1,408	1,323 (25)
岩手県	1,896	890	1,006 (16)
宮城県	557	405	152 (6)
うち 仙台市	16	16	— (0)
秋田県	2,549	1,403	1,146 (16)
山形県	2,770	1,436	1,334 (34)
福島県	1,143	904	239 (12)
栃木県	79	69	10 (1)
群馬県	188	188	— (0)
長野県	902	872	30 (3)
新潟県	6,496	3,499	3,047 (29)
うち 新潟市	1,138	239	899 (1)
富山県	773	457	316 (14)
石川県	1,456	707	749 (19)
岐阜県	618	401	217 (10)
福井県	581	364	217 (9)
滋賀県	410	403	7 (1)
京都府	238	173	65 (4)
うち 京都市	7	7	— (0)
兵庫県	433	242	191 (5)
鳥取県	284	277	7 (2)
島根県	291	97	194 (7)
岡山県	242	95	147 (5)
広島県	241	—	241 (6)
全国計	34,907	20,618	14,289 (297)

※1 () 書きは、配分対象となる市町村数
 ※2 除雪費補助の国費率は2/3、臨時特例措置の国費率は1/2
 ※3 臨時特例措置の全国計には市町村指導監督事務費として国費11百万円(国費率10/10)を計上している
 ※4 四捨五入との関係で、合計と合わない場合がある

~2020年度末から5年間で充電口数は約2.7倍に~

2025年度までにEV急速充電器を約1,100口に増設

2022年度整備実績、2023年度整備見通し及び2025年度までの整備見通し(前年度に対する増加口数) ※4※5

	2020年度末	2021年度末	2022年度末	2023年度末	2025年度末
整備状況	整備状況	整備状況	整備見通し	整備見通し	整備見通し
口数	402口	429口(+27口)	511口(+82口)	666口(+155口)	約1,100口

※4 2021年度以降は、2台同時充電可能な急速充電器の整備を主体として、2022年度以降は特にご利用回数が多いSA・PAにおいて、更に充電口数の多いマルチコネクタタイプ(6口)の急速充電器を整備
 ※5 2023年度以降の整備見通しにおける充電口数は現時点での見通しであり、今後具体的なレイアウト検討や設計・工事を進める中で増減することがある

NECCO東日本、NECCO中日本、NECCO西日本と株式会社e-Mobility Powerは、高速道路のSA・PAにおけるEV・PHEV・EV向け急速充電器の整備を進めており、2025年度までに充電口数を約1,100口と大幅に増設する整備見通しを策定した。

また、2022年度は、EV・PHEV向け急速充電器の新設(※2)・機器更新(複数口化を含む)により、2021年度末から充電口数を82口増設した。

NECCO西日本は、現在急速充電設備を概ね70~80km間隔で設置しているが、年々EV車の利用が増加傾向となっていること

度は更なる新設・機器更新を進め、充電口数をさらに155口増設する予定としている。

さらに、より便利にEV急速充電器を利用できるように、高速道路の路外に整備されたEV急速充電器も料金調整(※3)により利用できる制度や新たな課金・決済の導入について、2024年度から順次実施できるように、検討を進めている。

※1 EV・電気自動車、PHEV・プラグインハイブリッド車
 ※2 2021年度以降増設箇所については、原則バリアフリーに対応し、車いすの方にも利用しやすい設計とする方針
 ※3 ETC搭載車を対象に、高速道路を一旦流出して路外のEV急速充電器を利用後、指定時間以内に再度高速道路に流入した場合に、高速道路を流出せずに利用した場合の料金を適用するもの

NECCO西日本九州支社は、九州自動車道 宮原SA(上下)に、3月17日(金)から急速充電器を合計6口増設した。

NECCO中日本は、2014年頃から整備を進めており、既設の充電器については50kWのものが多いが、新設の充電器は月平均450回(日平均15回)近くの利用がある。

※浜松SA(上下)では各6口、駿河湾沼津SA(上下)では各4口、1口最大90kWでの充電が可能な急速充電器を併せて設置した。

NECCO西日本管内のSA・PA309箇所うち135箇所は急速充電設備が設置されており、24時間(年中無休)利用できる。

NECCO中日本は、2023年度は、EV・PHEV向け急速充電器の新設(※2)・機器更新(複数口化を含む)により、2021年度末から充電口数を82口増設した。

NECCO西日本管内のSA・PA309箇所うち135箇所は急速充電設備が設置されており、24時間(年中無休)利用できる。

NECCO中日本は、2023年度は、EV・PHEV向け急速充電器の新設(※2)・機器更新(複数口化を含む)により、2021年度末から充電口数を82口増設した。

専用サイトなどを順次導入し、周遊パスが便利に!

高速道路周遊パス検索サイト
<https://www.driveplaza.com/special/drivepass/>

NECCO東日本、NECCO中日本及びNECCO西日本では、対象エリアの高速道路料金利用期間内に定額で乗り降り自由になる高速道路観光周遊割引(周遊パス)を販売しているが、この周遊パスを便利に使いやすくなるために、①周遊パスの通年化、②全国の周遊パス検索サイトの導入、③共通会員制の導入(令和5年秋以降予定)、④平日利用の拡充措置を継続して導入している。

土曜・日曜・祝日に集中している観光需要を平準化する観点から、令和4年11月7日より、周遊パスを平日のみで利用する場合、販売価格の15%分のETCマイレージサービスのポイントを追加付与するキャンペーンを実施している。これにより、平均約3割お得(※1)に利用できる周遊パスを、追加付与されるポイントと合わせて、合計で約4割お得に利用できる。

本キャンペーンの実施により、平日のみの利用が従来の約2倍に増加(※2)するとともに、販売件数全体が増加傾向にあり、令和5年度以降も当面の間継続することとしている。

※1 「平均約3割」は、令和元年度に販売した周遊パス(4社合計21プラン)の平均割引率であり、販売価格からの割引率を示すものではない。実際の割引率は利用する区間及び走行回数によって異なるが、周遊パスの利用が約3割お得とならない場合がある。

※2 令和元年11月と令和4年11月7日からの1か月間の比較において平日のみの販売件数が約1.87倍に増加した。

NECCO西日本管内のSA・PA309箇所うち135箇所は急速充電設備が設置されており、24時間(年中無休)利用できる。

NECCO中日本は、2023年度は、EV・PHEV向け急速充電器の新設(※2)・機器更新(複数口化を含む)により、2021年度末から充電口数を82口増設した。

NECCO西日本管内のSA・PA309箇所うち135箇所は急速充電設備が設置されており、24時間(年中無休)利用できる。

NECCO中日本は、2023年度は、EV・PHEV向け急速充電器の新設(※2)・機器更新(複数口化を含む)により、2021年度末から充電口数を82口増設した。